

## (1) 市民アンケートの結果(速報)について

## 1 調査概要等について

## (1) 調査概要

市民のスポーツの実施状況等を把握するため、市民アンケート調査を実施

- ① 送付日 令和元年 12 月 12 日(木)
- ② 件数 3,000 件(男性 1,462 件、女性 1,538 件)  
※ 18 歳以上の市民から無作為抽出(住民基本台帳)
- ③ 方法 郵送による無記名回答方式
- ④ 調査票 別紙のとおり

## (2) 回答者属性

- ① 回答件数 886 件(回答率 29.53%)

## ② 回答者属性

ア 性別

	回答数	送付件数	回答率
男性	408 件	1,462 件	27.91%
女性	472 件	1,538 件	30.69%
不明	6 件	—	—

イ 年代別

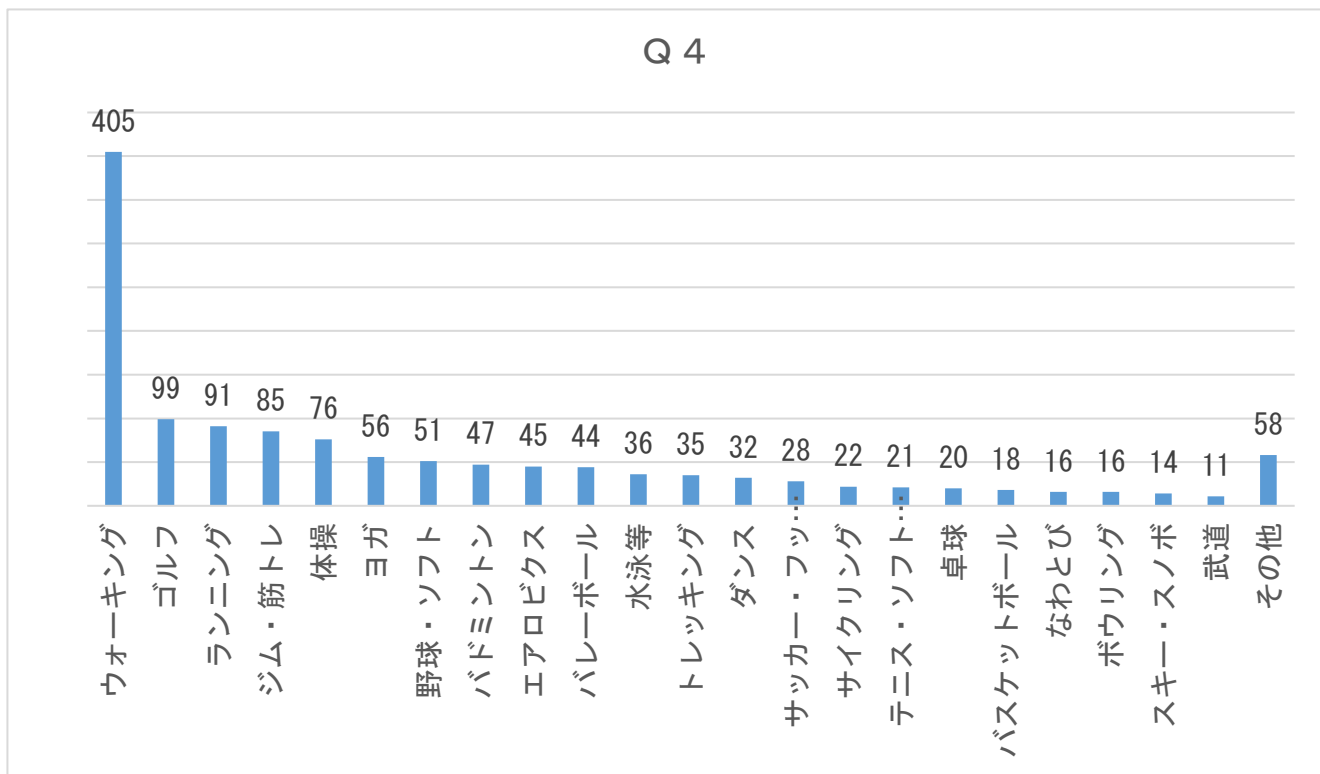
	回答数	送付件数	回答率
18～29 歳	70 件	376 件	18.62%
30～39 歳	98 件	369 件	26.56%
40～49 歳	150 件	478 件	31.38%
50～65 歳	265 件	735 件	36.05%
66～79 歳	232 件	705 件	32.91%
80 歳以上	69 件	337 件	20.47%
不明	2 件	—	—

## 2 市民のスポーツ活動状況

### (1) スポーツを「する」関係

#### ① 過去1年間に実施したスポーツ活動(Q4 複数回答可)

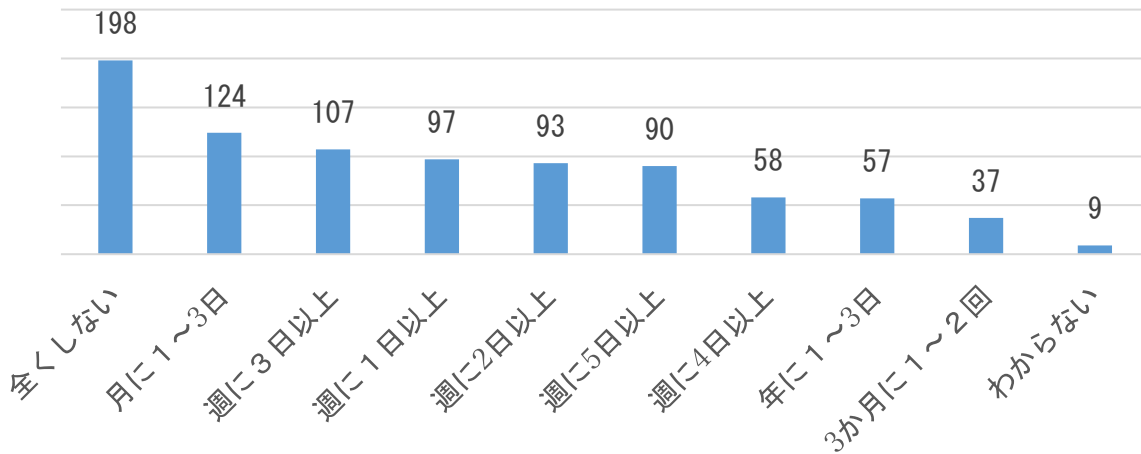
- ・ アンケート回答総数 886 件のうち、666 件(実数)から回答有
- ・ 実施したスポーツ活動としては、回答の多い順に、ウォーキング(405 件)、ゴルフ(99 件)、ランニング(91 件)、ジム・筋トレ(85 件)、各種体操(76 件)となっている。
- ・ ウォーキングやランニングなど個人で行うことができるスポーツや施設の予約等がなく気軽に実施できるスポーツの実施率が高い。



#### ② スポーツ活動の頻度(Q6)

- ・ 週1回以上のスポーツ実施率は、50.2%(男性 52.5%、女性 47.9%)となっており、現行計画策定時の 39.2%から、10%程度増加している(目標値 65.0%)。
  - ※ いわきサンシャインマラソンや、民間スポーツジムの充実などを背景に改善しているものと思料
- ・ 地区別では、(母数が少ないことも要因の一つと考えられるところであるが)三和、田人及び川前地区等、中山間地域での実施率の低さが顕著
- ・ 年代別では、30~50 歳代での実施率が著しく低くなっている。

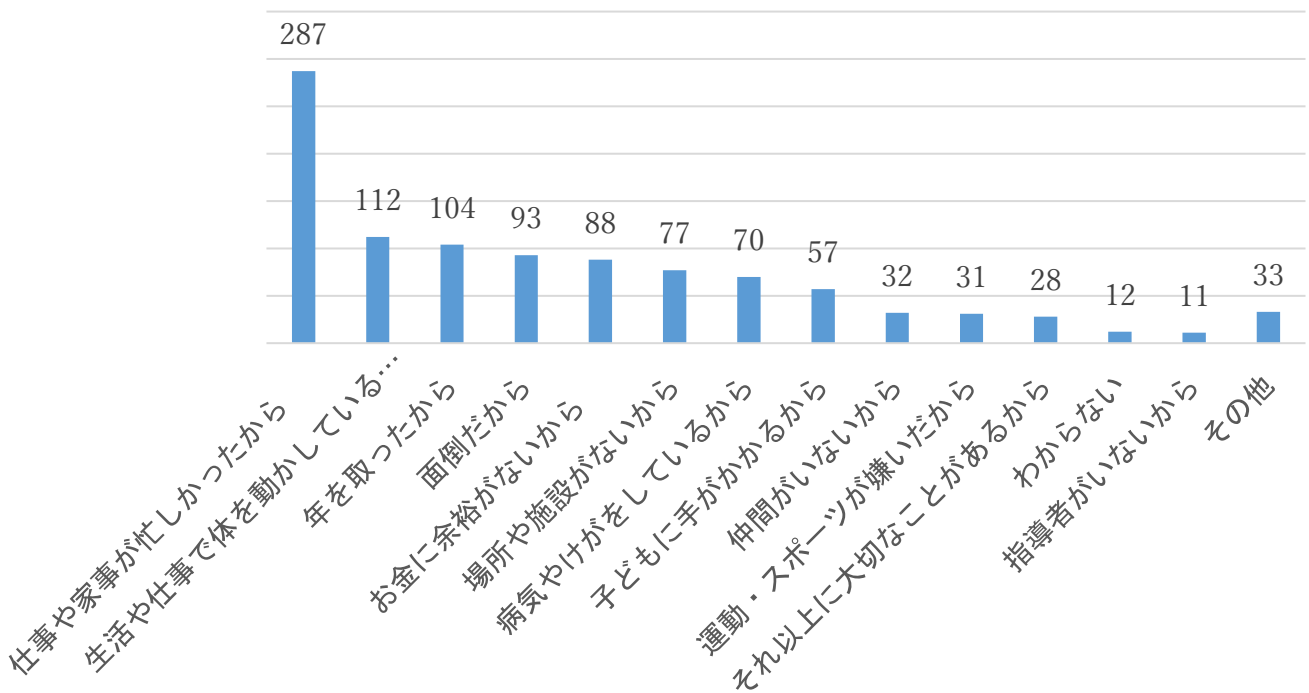
### Q 6



### ③ 週1日以上スポーツができなかった理由(Q 7 3つまで回答可)

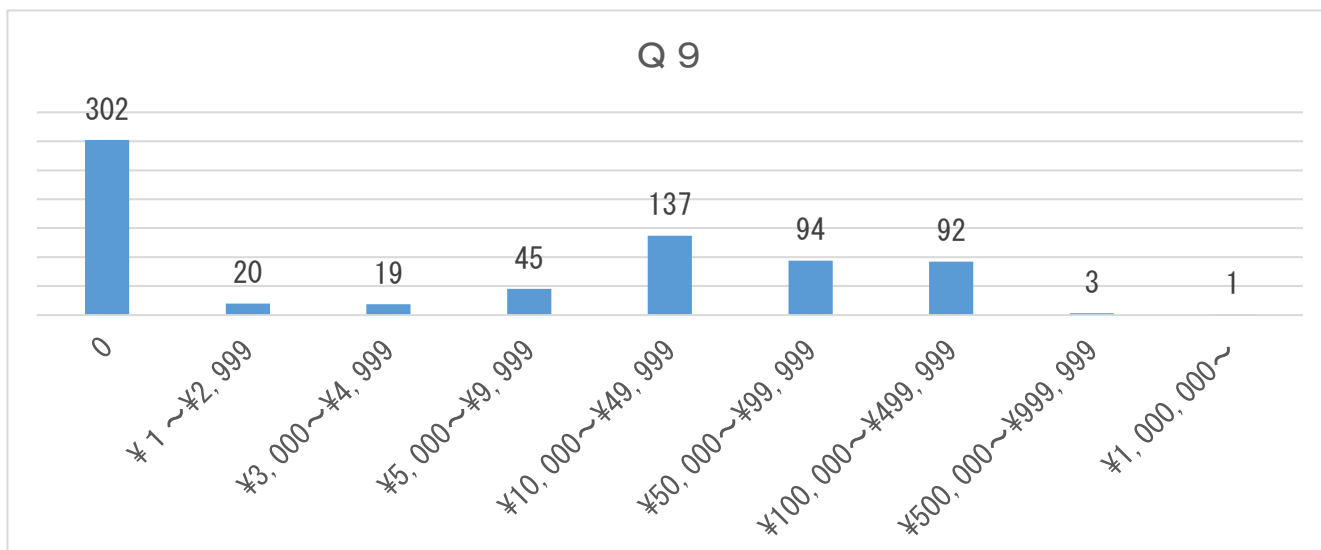
- ・ 回答の多い順に、「仕事や家事が忙しかったから」(287件 58.0%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(112件 22.7%)、「年を取ったから」(104件 21.0%)となっている。
- ・ 男女別では、「子どもに手がかかるから」「運動・スポーツが嫌いだから」「年を取ったから」の項目で、性差が目立っている。
- ・ 年代別では、就業世代(～65歳)や子育て世代(30・40歳代)において、「仕事・家事」や「子育て」「費用」を理由に挙げる比率が高いほか、若年層においては、「場所」や「仲間」を理由に挙げる比率が高い。

### Q 7



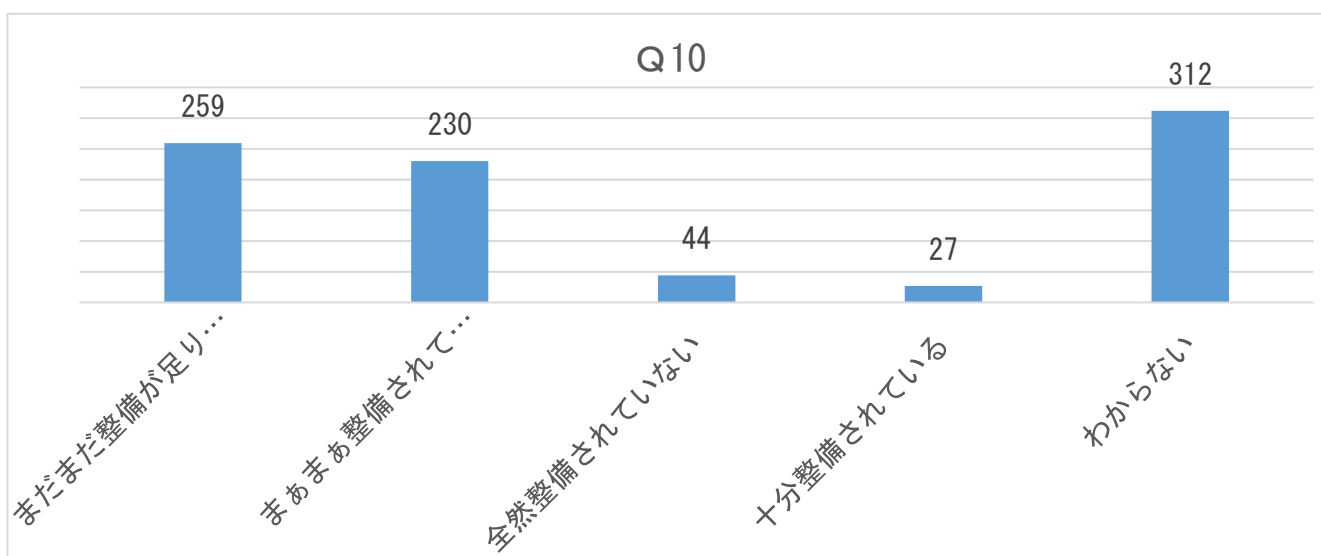
#### ④ スポーツ活動のための費用(Q 9)

- 57.6%がスポーツ活動のための費用を支出しており、平均額は68,224円となっている。
- 地区別の相違は見られないものの、女性よりも男性の方が、スポーツ活動に費用をかける傾向がある。  
 (費用をかける割合) 男性 66.6% 女性 48.2%  
 (平均額) 男性 83,902円 女性 49,395円
- 年代別・性別にみると、男性が「66～79歳」で支出額のピークを迎えるのに対し、女性は「50～65歳」でピークを迎えている。



#### ⑥ 市スポーツ施設に対する評価(Q10)

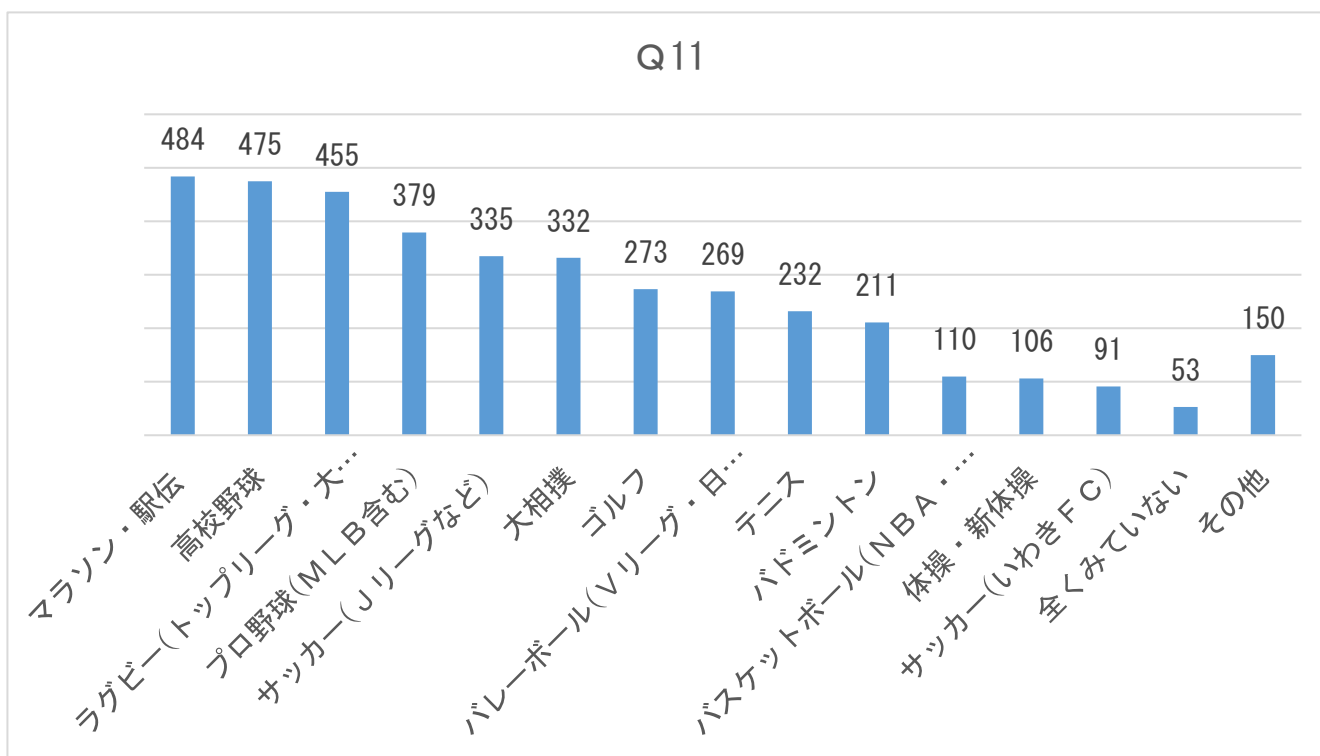
- 回答が多い順に「まだまだ整備が足りない」(259件 29.7%)、「まあまあ整備されている」(230件 26.4%)となっている。
- 地区別に見ると、大きな差はないものの、遠野や小川地区などの中山間地域における評価は低くなっている。
- 年代別に見ると、就業世代の評価が低く、高齢者の評価が高い傾向にある。
- 週1回以上スポーツを行う方に限定して分類した場合、全体で分類した時との大きな乖離はない。



## (2) スポーツを「みる」関係

### ① 観戦したスポーツ(Q11 複数回答可)

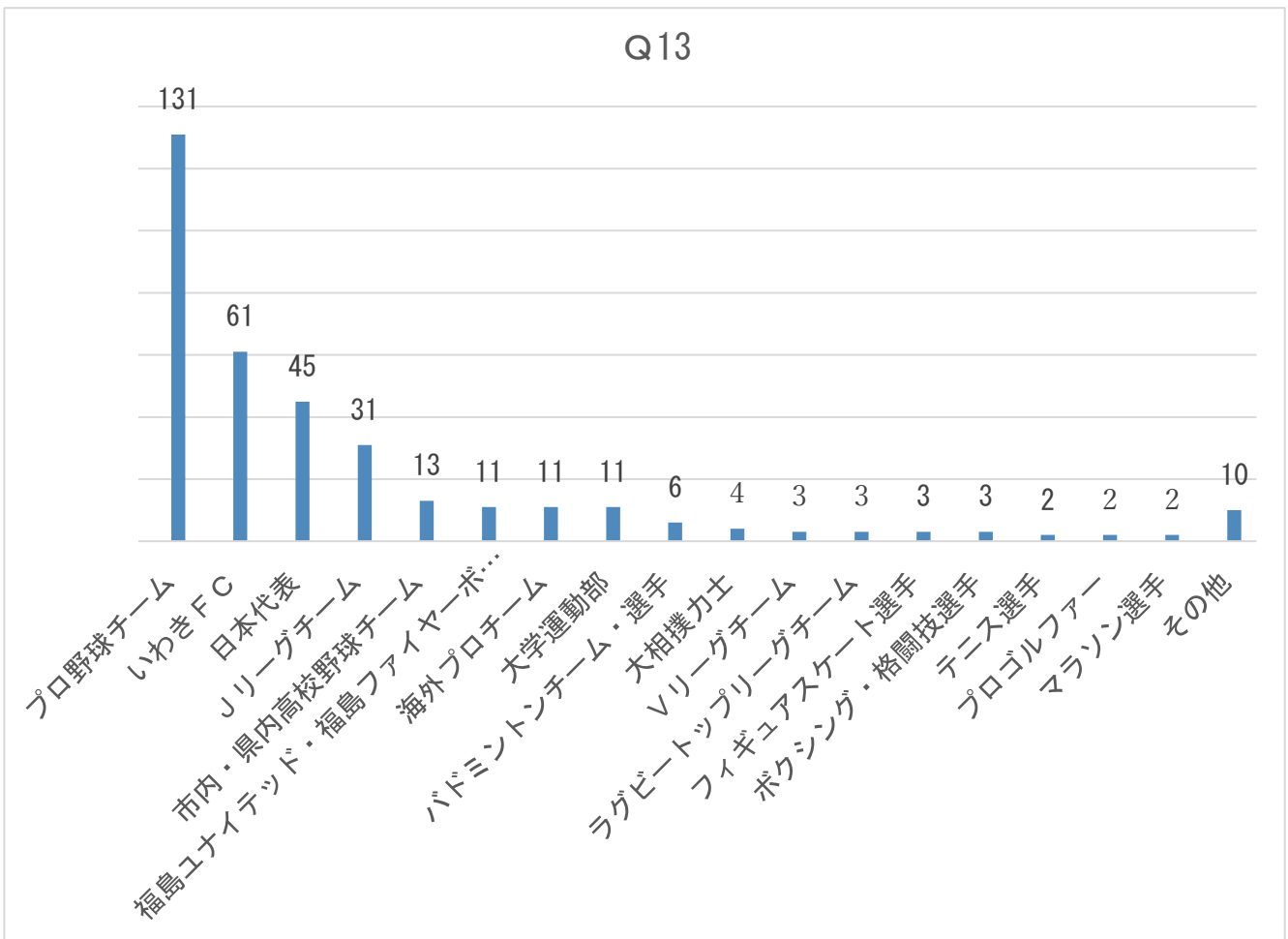
- ・ 回答が多い順に、「マラソン・駅伝」(484件 59.2%)、「高校野球」(475件 58.1%)、「ラグビー」(455件 55.6%)、「プロ野球」(379件 46.3%)、「サッカー」(335件 41.1%)となっている。
- ・ 「バレーボール」及び「バドミントン」を除き、「50～65歳」「66～79歳」の年代におけるスポーツ観戦率が高くなっている。
- ・ 女性よりも男性の方が、スポーツ観戦率が高い傾向がある。



### ② 応援しているチームや好きな競技(Q13 3つまで回答可)

- ・ 応援しているチームについては、回答が多い順に「プロ野球チーム(巨人・東北楽天が大半)」(131件 53.7%)、「いわきFC」(61件 25.0%)、「Jリーグチーム」(31件 12.7%)となっている。
- ・ その他、様々な競技・チームが挙げられているが、各競技の日本代表が合計56件(42.7%)の回答があったことに加え、市内・県内高校野球部(13件 5.3%)や福島ファイヤーボンズなどの在福プロチーム(11件 4.5%)も回答数が多い。
- ・ 好きな競技については、回答が多い順に、「野球」(164件 36.0%)、「サッカー」(110件 24.2%)、「ゴルフ」(87件 19.1%)となっている。
- ・ アンケート回答総数886件(男性408件 女性472件 性別不明6件)に対し、本設問への回答件数が455件(男性245件 女性207件 性別不明1件)であり、好きな競技がある方は51.4%(男性60.0% 女性43.9%)となっている。
- ・ さらに、何かしらの応援しているチームがある方は、244件(男性154件 女性89件 性別不明1件)となっており、女性よりも男性の方が、「好きなスポーツ」の先の「好きなチームの応援」に繋がる傾向がある。

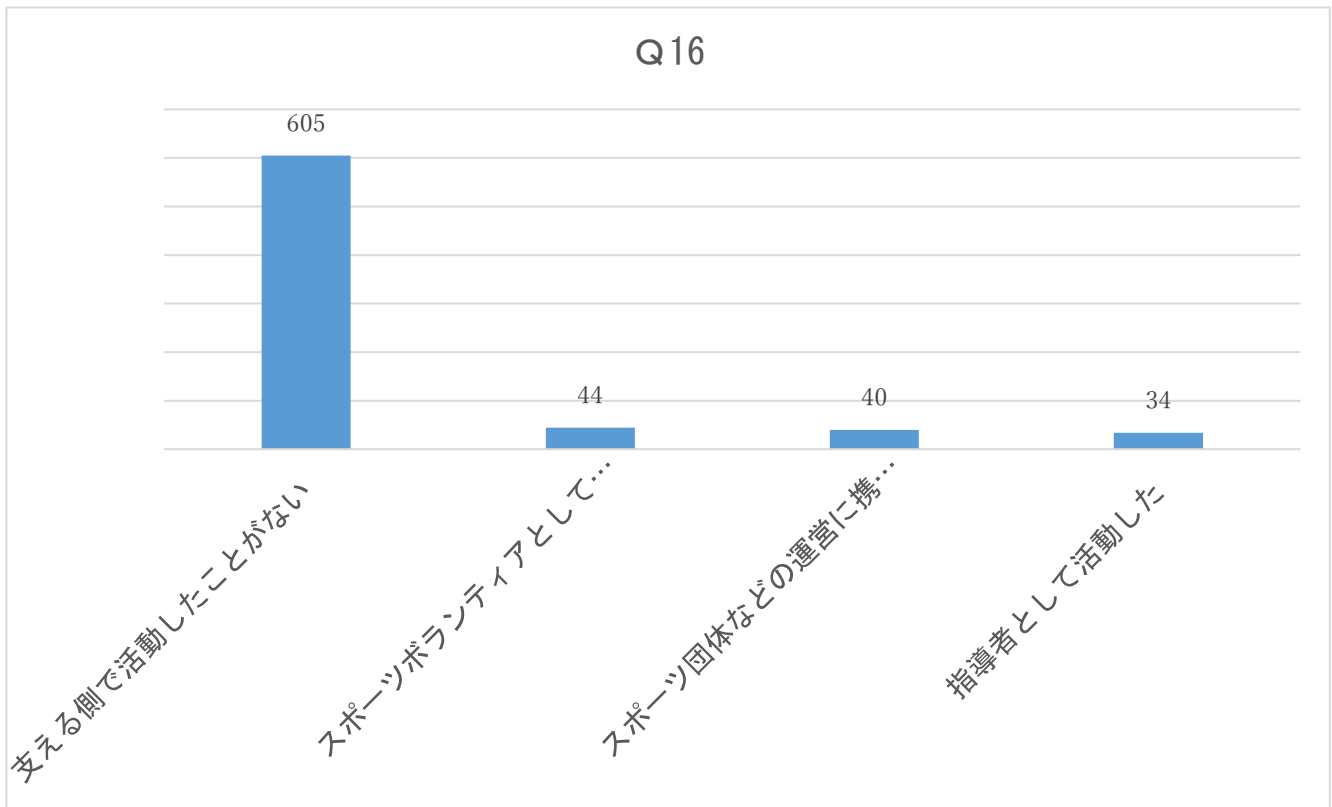
	アンケート 回答総数①	好きな競技 回答件数② (②/①)	応援チーム 回答件数③ (③/①)	③/②
全体	886件	455件(51.4%)	244件(27.5%)	53.6%
男性	408件	245件(60.0%)	154件(37.7%)	62.9%
女性	472件	207件(43.9%)	89件(18.9%)	43.0%
性別不明	6件	1件	1件	



### (3) スポーツを「ささえる」関係

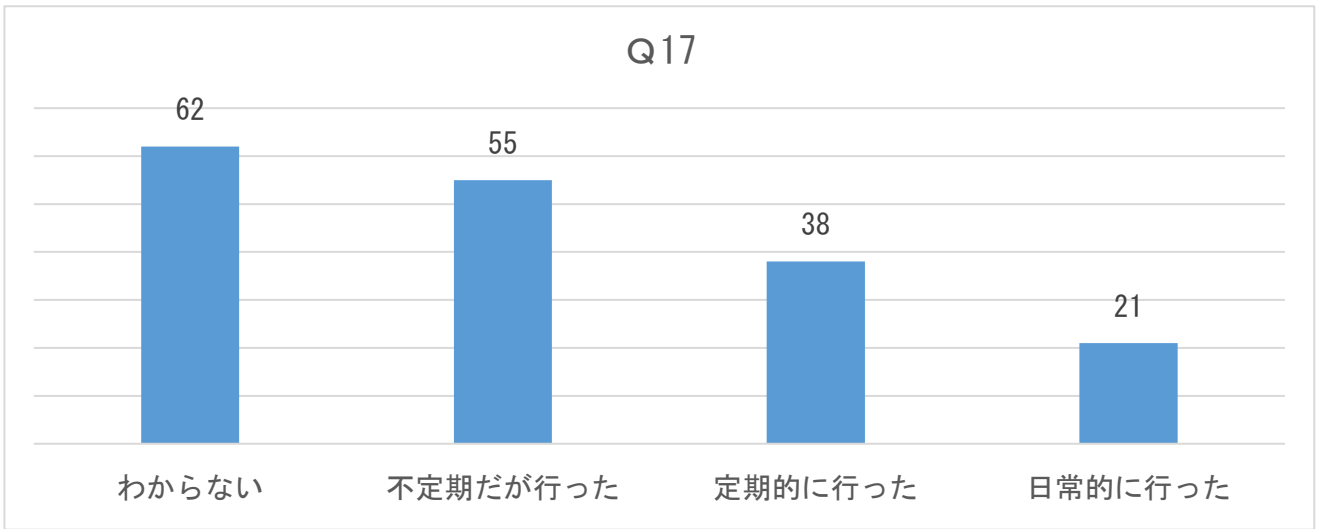
#### ① 直接スポーツを支える側で活動した経験(Q16)

- ・ 設問回答件数 723 件のうち、8 割を超える方(605 件 83.7%)が「支える側で活動したことがない」状況にある。
- ・ 支える側での活動としては、「スポーツボランティアとして活動した」(44 件 6.1%)、「スポーツ団体などの運営に携わった」(40 件 5.5%)、「指導者として活動した」(34 件 4.7%)の順となっている。
- ・ 「スポーツボランティアとして活動した」については、男女差はないものの、「スポーツ団体などの運営に携わった」及び「指導者として活動した」については、男性の方が高くなっている。



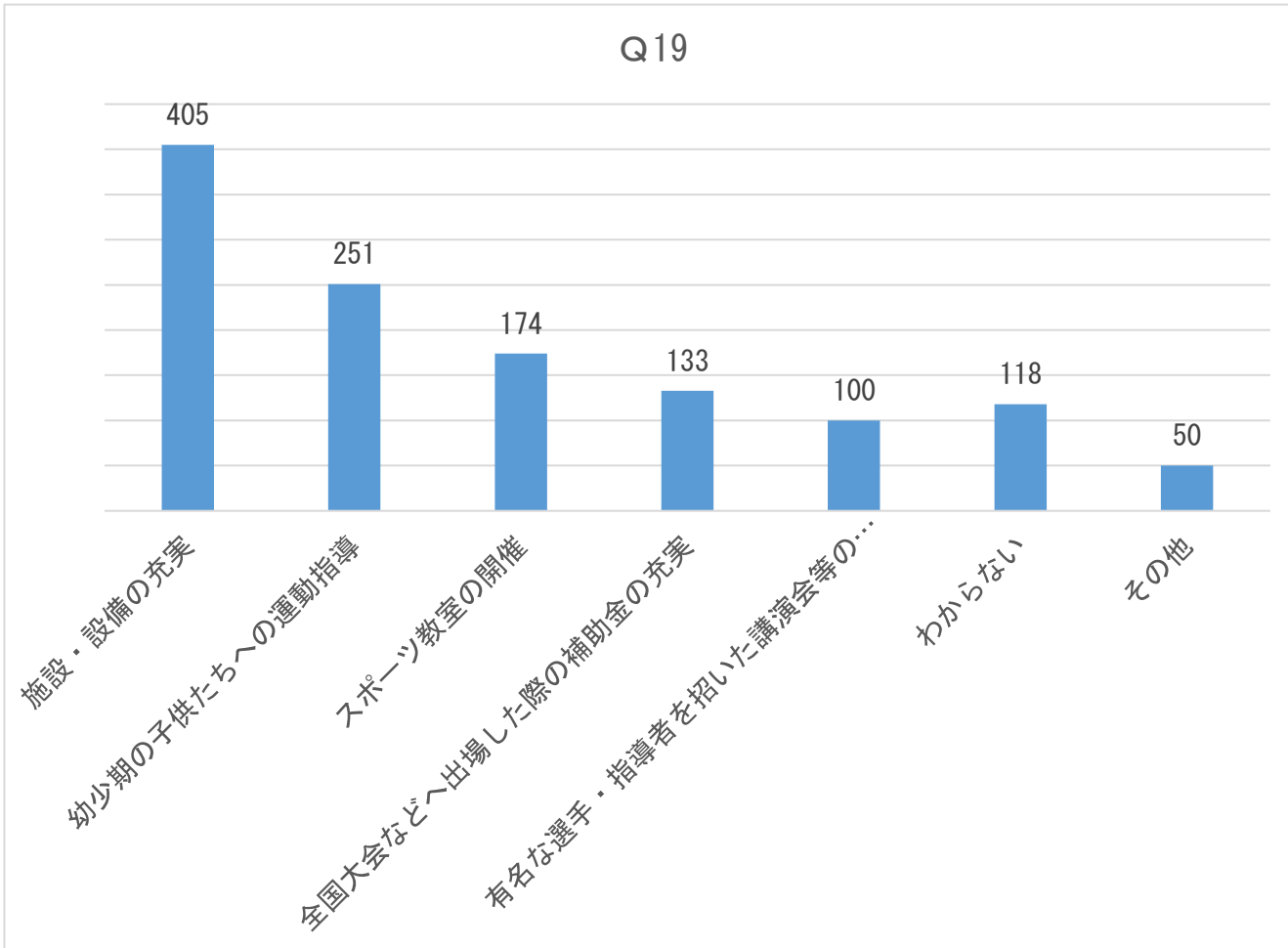
#### ② 直接スポーツを支える側で活動した頻度(Q17)

- ・ 回答のあったうち、「日常的」「定期的」など普段から活動を行っている方の割合は、33.5%(59 件/176 件)であり、「不定期」の方の割合は、31.3%となっている。
- ・ 普段から活動を行っている人のうち、「18~29 歳」「30~39 歳」「40~49 歳」においては、男性よりも女性の方の比率が高い傾向がある。



③ スポーツの普及・振興に関して市に望む取組み(Q19)

- ・ 約半数(52.33%)の方が「施設・設備の充実」を選択しており、勿来・遠野・田人地区では、特に比率が高い。
- ・ 続いて、「幼少期の子供たちへの運動指導」(32.4%)、「スポーツ教室の開催」(22.5%)を挙げる方が多い。
- ・ 年代別で見ると、「施設・設備の充実」は「18～29歳」「30～39歳」、「幼少期の子供たちへの運動指導」は「30～39歳」「40～49歳」、「スポーツ教室の開催」は「66～79歳」で比率が高まっている。

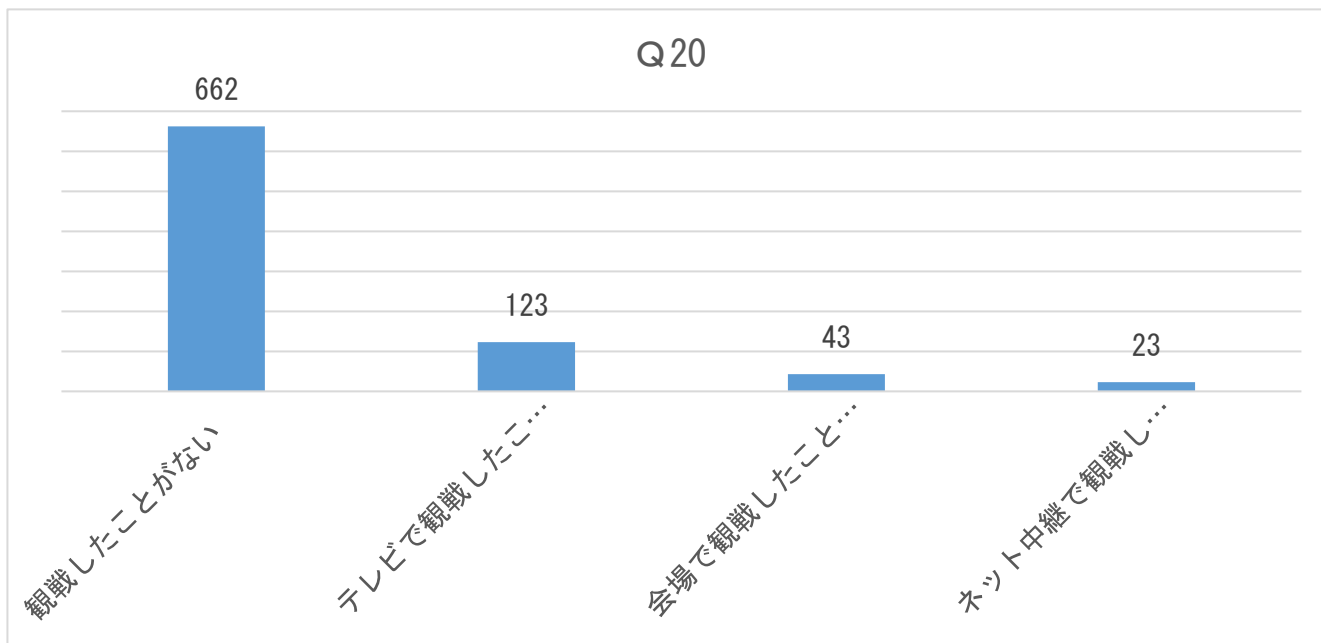




#### (4) いわきFC関係

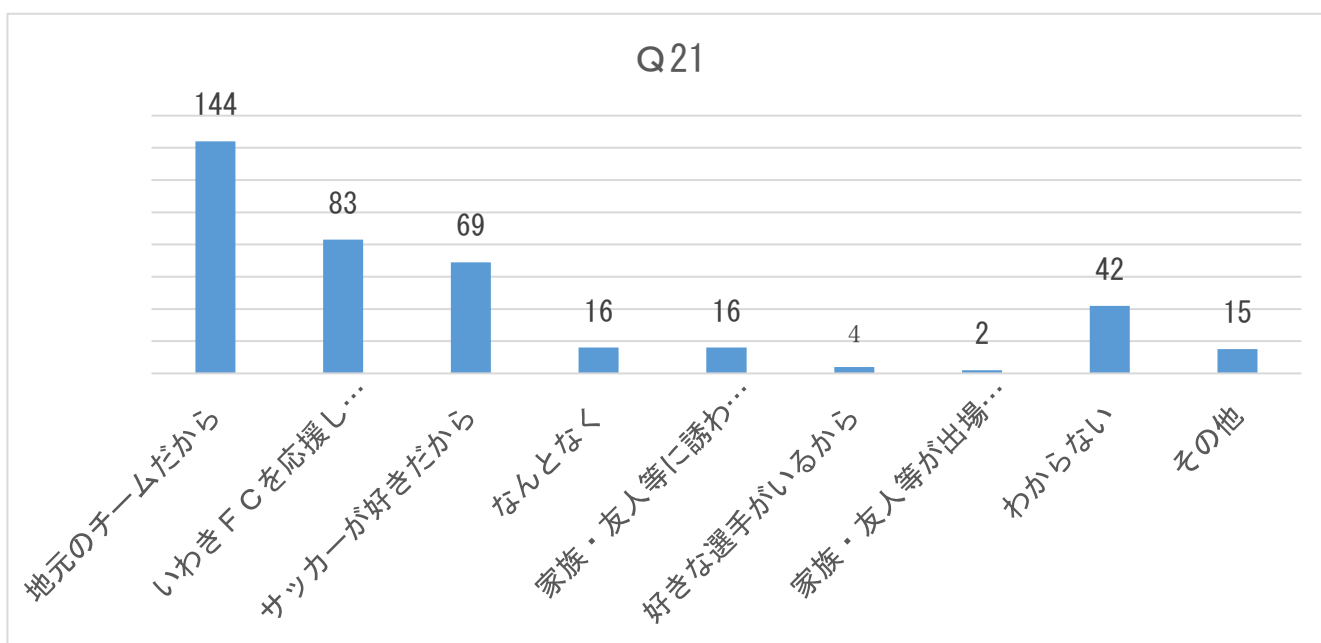
##### ① いわきFCの試合の観戦経験(Q20)

- 21.3%(189件)が、いわきFCの試合を会場、ネット又はテレビで観戦したことがあると回答しており、年齢層が高くなるにつれ、観戦率が高まっている。
- 実際に会場で観戦したことがあるのは、4.9%(43件/886件)となっており、女性が3.0%であるのに対し、男性が7.1%となっている。



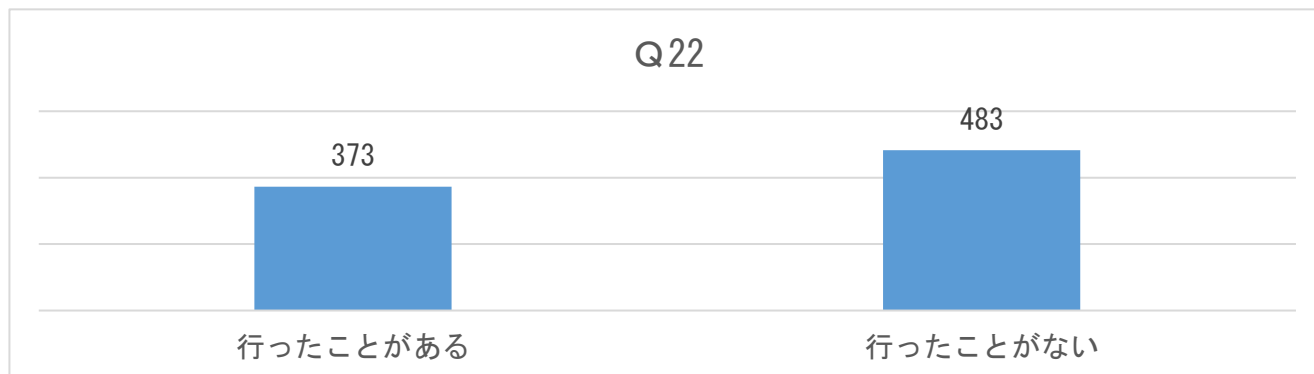
##### ② いわきFCの試合を観戦した理由(Q21 3つまで回答可)

- 回答数は、「地元のチームだから」、「いわきFCを応援したいから」、「サッカーが好きだから」の順となっている。
- 男女差が大きい回答項目としては、男性が多いものが「地元のチームだから」、「サッカーが好きだから」「暇つぶしのため」、女性が多いものが「いわきFCを応援したいから」、「家族・友人等に誘われたから」となっている。



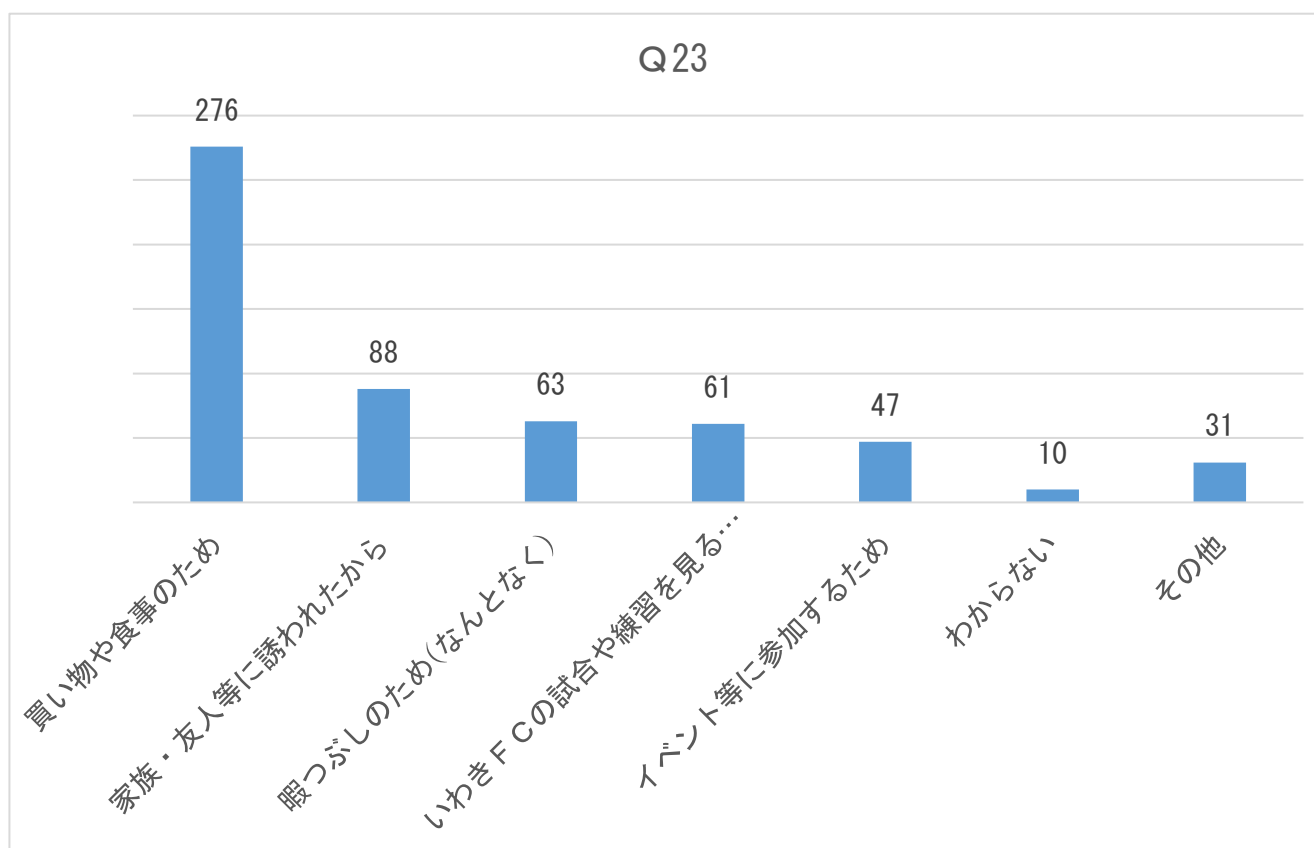
### ③ いわきF Cパーク訪問の有無(Q22)

- 全体で 42.1%(373 件/886 件)の方が、いわきF Cパークに行ったことがあり、「平」地区以外では、「常磐」「内郷」「遠野」などの近隣地区の回答が多い。
- 男性よりも女性の訪問率が高くなっており、年代としては、「30～39 歳」、「40～49 歳」、「50～65 歳」の訪問率が高い。



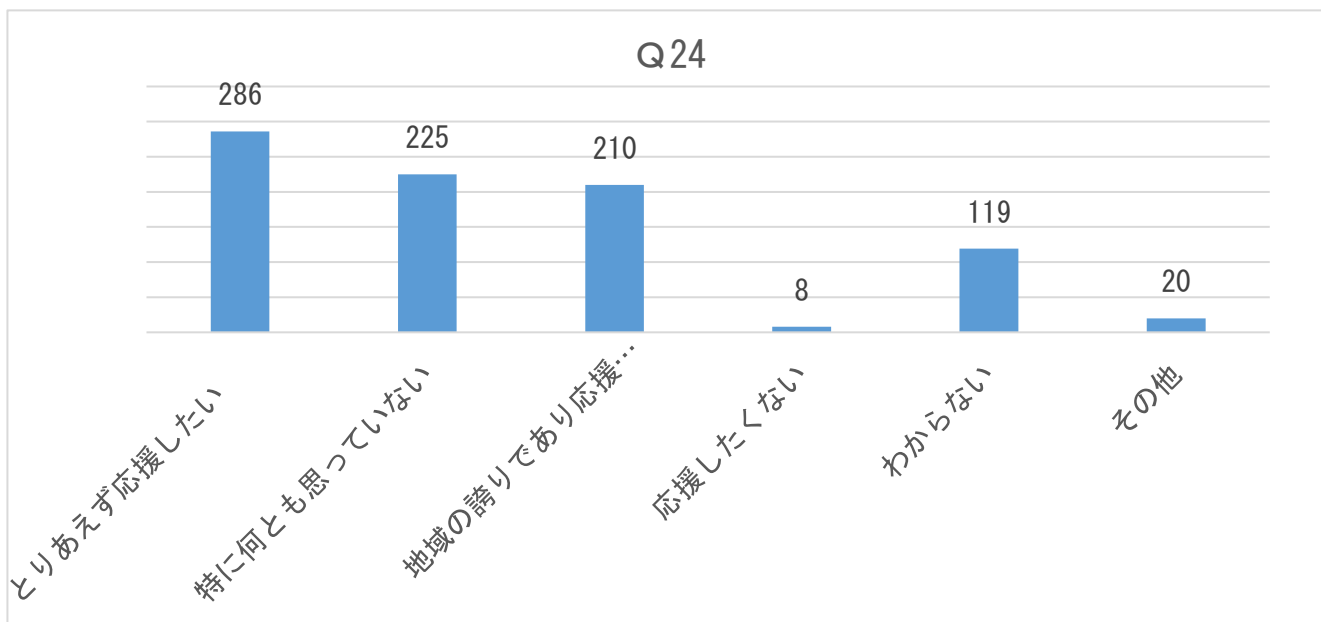
### ④ いわきF Cパークを訪問した理由(Q23 3つまで回答可)

- 「買い物や食事のため」と答えた方が 72.3%(276 件/382 件)と最も多く、「家族・友人等に誘われたから」(23.0%)、「暇つぶしのため(なんとなく)」(16.5%)が続いている。
- 「イベント等に参加するため」と回答した方は、「勿来」「常磐」「内郷」「遠野」などの近隣地区の比率が高い。
- 「いわきF Cの試合や練習を見るため」と回答した方は、若年層(18～29 歳)及び高齢者(66 歳以上)で比率が高い。また、「買い物や食事のため」と回答した方は、年代が若くなるにつれ比率が高まっていく傾向がある。



⑤ いわきFCに対する意識(Q24)

- 「地域の誇りであり応援したい」「とりあえず応援したい」といったプラスの評価をしている方が、55.9%(495件/886件)となっている。  
 ※ マイナスの評価(「応援したくない」)は、0.9%(8件/886件)
- 地区別での差異は見られないものの、男性では「40~49歳」「50~65歳」、女性では「50~65歳」「66~79歳」におけるプラスの評価が高い。



⑥ いわきFCのホームゲーム観戦に係る意向(Q25)

- 「必ず見に行く」「見に行きたい」と回答した、ホームゲームへの来場が見込まれる層(㊦)の割合は、19.0%(168件/886件)となっている。  
 ※ Q20のこれまで実際に会場で観戦したことのある割合4.9%の約4倍
- 「見に行ってもよい」と回答した、働きかけ次第で来場が見込まれる層(㊧)の割合は、31.3%(277件/886件)となっている。
- 男女別では、男性の方が観戦意向の高い傾向が見られる。
- ㊦の層は、「18~29歳」「40~49歳」における比率が高く、㊧の層は、小さな子どもがいると想定される「30~39歳」や「50~65歳」における比率が高い。
- 「見に行かない」と回答した方は、高齢者層で比率が高い。

